DMC Co., Ltd.
Interface with Touch

マウスエミュレーションソフトウェア

TSC-10/DD v3.08.74P

取扱説明書

株式会社ディ・エム・シー

--目次--

はじめに ------------------- 2

インストール ----------------- 3

使い始める前に ------------- 6

マウス操作 ----------------- 7

機能設定 ------------------ 8

その他 --------------------- 20

この取扱説明書で提供するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することが出来ます。

著作権

Copyright © 1998-2008 Touch-Base Ltd.

商標

Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の米国に於ける登録商標または商標です。

はじめに

本書には TSC-10/DD を正しくご使用していただくための情報が記載されています。十分に機能を発揮させていただくため、又予期せぬトラブルを未然に防ぐためにも本書をよくお読みになってください。

A 特徴と機能

TSC-10/DD は弊社タッチパネルコントローラ TSC シリーズ IC を利用し Windows 上でタッチパネルを操作することによりマウス操作環境を実現する、マウスエミュレーションソフトウェアです。以下に提供する機能とその特徴を示します。

1. タッチパネルを操作することでマウスと同等な操作環境を実現することができます。
2. マウスとの共存が可能なため、特別な設定を行うことなくタッチパネル、マウス双方を切替え使用することが出来ます。
3. タッチパネルコントローラが、シリアルポート、USB どちらに接続されていても、インストール時に対応したドライバを選択することにより使用することが出来ます。
4. 柔軟なカスタマイズ機能により、マウス左右ボタン切替えはもちろんのこと、クリック操作に関係する詳細な設定、タッチ入力に対するイベントのカスタマイズ、精密なキャリブレーション機能など広範な使用状況で優れた操作性を提供します。
5. TSC シリーズ IC の USB モードに於けるマルチタッチパネル機能をサポート。USB 接続に於いて最大 2 台までのマルチタッチパネル環境を構築できます。シリアル接続においても最大 2 台までのマルチタッチパネル環境を構築できます。
6. TSC-20/DD との違いはキャリブレーションポイント数の初期設定のみです。TSC-10/DD は初期設定値が 4 ポイントであり、TSC-20/DD は初期設定値が 9 ポイントになっております。

B 表記について

本書では、動作対象 OS、TSC-10/DD の表示に関して、特定の名称・表示に対しては以下のように表現します。

「****」　アイコン名、ボタン名を表します。例えばフロッピーディスクドライブのアイコンは「3.5 インチ FD(A:)」となります。

<***>　キーボード上のキーを表します。例えば Enter キーは<Enter>となります。

'***'　ウィンドウタイトル名を表します。例えば、 ボタンモードの追加　と題されたウィンドウは 'ボタンモードの追加' となります。

[***]　上記以外の文字列を表します。例えばスタートメニュー内のプログラムは[プログラム]となります。

Windows　単に Windows と表記の場合は、全ての対象 OS を表します。

本ソフトウェア　TSC-10/DD を表します。

C 動作環境

対応機種 IBM PC/AT 互換機

対応 OS　Windows 2000 Professional, Windows XP Professional, Windows XP HomeEdition

D 注意事項

1. 本ソフトウェアは弊社製タッチパネルコントローラ TSC シリーズ IC のマウスエミュレーションソフトウェアです。他のタッチパネルコントローラ及びタッチパネルコントローラに類する物は動作対象外となります。
2. 本ソフトウェアの使用方法は本書に従った方法で行ってください。異なる使用方法では動作しない場合があります。
3. 本ソフトウェアは対応機種として明記された機種、OS 以外では動作対象外となります。
4. 他のマウスエミュレーションソフトウェア或いは類似の機能を提供するソフトウェアがインストールされた環境では使用しないで下さい。正常に動作しない場合があります。
5. ドライバの読み込みは、インストールプログラム(setup.exe)を実行する事により行われます。

   インストールプログラム実行以前にドライバを読み込み、タッチパネルを操作することは出来ません。

   また、インストールプログラムの 2 重起動は行わないでください。
6. 本ソフトウェア以前のバージョンがすでにインストールされている場合は、必ずそのソフトウェアのアンインストールを行なってから、本ソフトウェアをインストールしてください。上書きインストールをすると正常に動作しない場合があります。
7. 本ソフトウェアをインストールすることにより複数のレジストリ値が追加されますが、これらの削除は行わないでください。削除した場合、正常に動作しなくなる可能性があります。通常、レジストリ値を直接編集する必要はありませんが、何らかの原因により削除されてしまった場合には本ソフトウェアの再インストールを行ってください。

インストール

本ソフトウェアは、タッチパネルコントローラ TSC シリーズ IC がシリアルポート、又は USB どちらに接続されているかにより、インストール作業が一部異なります。
ここでは、インストール途中までの共通手順個所、及びシリアルポート或いは USB の接続環境によって個別に設定しなければならない一部の個所について説明します。

USB コントローラをお使いの場合、インストールが完了するまで USB コントローラをホストコンピュータに接続しないでください。

A インストール共通作業

1. コンピュータの電源投入

   コンピュータの電源を入れ、Windows を起動してください。

2. インストーラ起動

   本ソフトウェアのインストーラ「setup.exe」「MAINDIR1.cab」「MAINDIR2.cab」「SYSDIR1.cab」「DRV32_1.cab」が同じディレクトリにある場合は、「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動してください。又は、「setup.exe」「MAINDIR1.cab」「SYSDIR1.cab」「MAINDIR2.cab」「SYSDIR1.cab」「DRV32_1.cab」をそれぞれフロッピーディスクに保存し、「setup.exe」を Disk1、「MAINDIR1.cab」を Disk2、「MAINDIR2.cab」「SYSDIR1.cab」「DRV32_1.cab」を Disk3 として Disk1 をフロッピーディスクドライブに入れ、マイコンピュータの中の「3.5 インチ FD(A:)」アイコンをダブルクリックしてウィンドウを開きます。開いたウィンドウの中にある「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

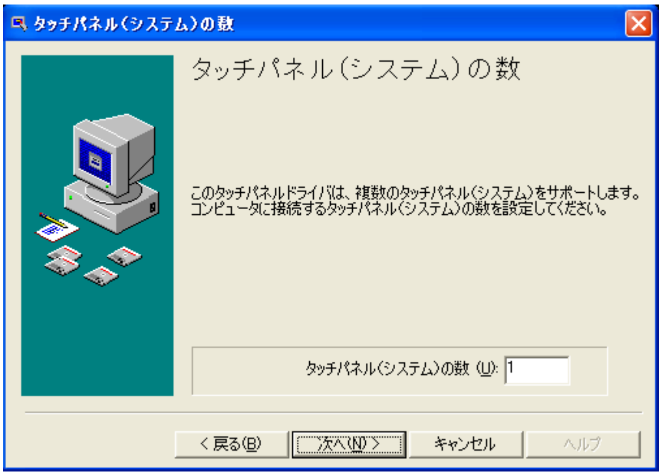
インストーラ画面に表示される設定値のほとんどは、多くユーザーにとって変更する必要の無い、最適な設定になっています

B タッチパネルの数

インストールするタッチパネル(コントローラ)の数を指定します。マルチタッチパネル環境で使用する場合は、タッチパネル接続数を入力してください。

タッチパネルの数の設定が終わったら、「次へ(N)」をクリック、又は<Enter>キーを入力してください。

マルチタッチパネル環境で使用する場合は、あらかじめ本項目でデバイスの数を指定することを推奨いたします。
後から追加する場合は、「B デバイス」の項目をご参照ください。



C ドライバの選択

インストール途中、‘タッチパネルドライバの選択’ウィンドウが現われます。ここではご使用になるコントローラがシリアルポート接続か USB 接続かによって選択するドライバが異なります。シリアルポート接続で使用される場合、[DMC TSC-10 Series, Serial]を選択してください。又、USB 接続で使用される場合は[DMC TSC-10 Series, USB]を選択してください。コントローラ選択後、「次へ(N)」をクリック、又は<Enter>キーを入力してください。

[DMC TSC-10 Series, Serial]を選択した場合、[シリアルポート接続]の項へ進んでください。

[DMC TSC-10 Series, USB]を選択した場合、[インストール準備完了]の項へ進んでください。

D シリアルポート接続

[DMC TSC-10 Series, Serial]を選択した場合、‘シリアルポート設定’ウィンドウが現われます。使用するシリアルポートが COM1 の場合は「次へ(N)」をクリック、又は<Enter>キーを入力してください。COM2 或いは他のポートを使用する場合はプルダウンメニューで使用するポートを選択後、「次へ(N)」をクリック、又は<Enter>キーを入力し、[インストール準備完了]へ進んでください。

E インストール準備完了

シリアルポート接続の場合は‘シリアルポート接続’設定後、USB 接続の場合は‘コントローラの選択’設定後本項へ進みます。「次へ(N)」をクリック又は<Enter>キーを入力してください。以後は、インストーラの指示に従い操作してください。

F インストール完了

インストール終了です。「完了」をクリック又は、<Enter>キーを入力してください。

Windows XP Professional/HomeEdition をご使用の場合。

USB コントローラを使用する場合、インストール終了後、USB コントローラが PC に接続されると‘ハードウェアのインストール’と題されたウィンドウが表示されます。「続行(C)」ボタンをクリック、又は<C>キーを入力してください。

Windows 2000 Professional をご使用の場合。

USB コントローラを使用する場合、インストール終了後、USB コントローラが PC に接続されると‘デジタル署名が見つかりませんでした’と題されたウィンドウが表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリック、又は<Y>キーを入力してください。

G アンインストール

本ソフトウェアをアンインストールするには、「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」(Windows XP の場合)を実行し、「タッチパネルドライバ」選択後、「追加と削除(R)」をクリックします。

アンインストーラ起動後、アンインストーラの指示に従い操作します。アンインストール終了です。

※ USB コントローラをお使いの場合、アンインストールを行う前に USB コントローラをホストコンピュータから外してください。

使い始める前に

キャリブレーション

タッチパネルは、使い始める前にキャリブレーションを行わなければなりません。キャリブレーションとは、タッチパネル上にタッチ入力した位置と、Windows のカーソル位置を合わせるために行う非常に大切な操作で、この作業を行うことによってタッチパネルを違和感無く操作できるようになります。

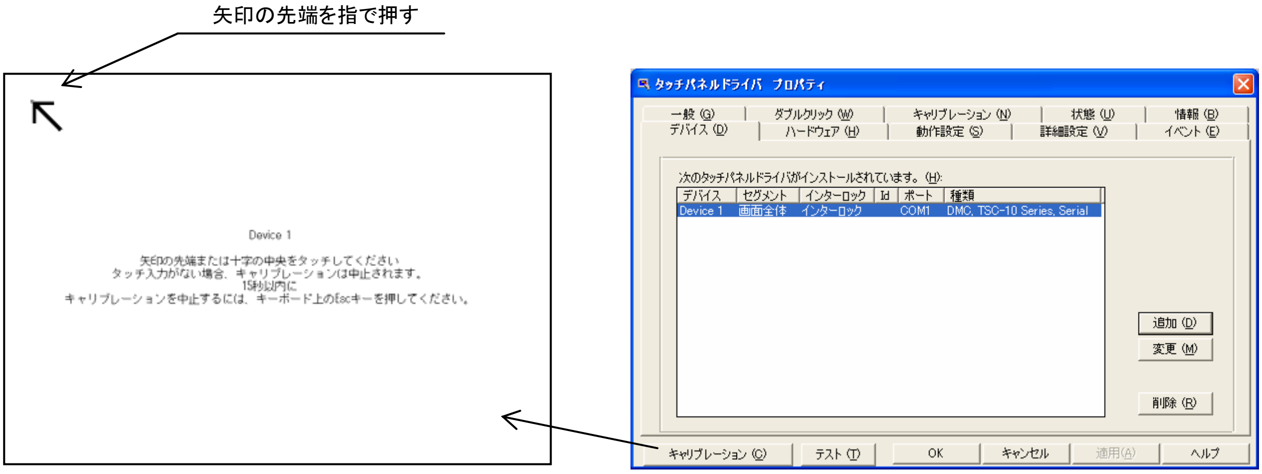
＜EEPROM キャリブレーションを使用しない場合＞

一度キャリブレーションを行えばキャリブレーションデータは Windows に記憶される為、以後、Windows を起動するたびに本操作を行う必要はありません。

キャリブレーションを行うには、はじめに以下の何れかの手順を行ってください。

1. 「スタート」→[プログラム]→[UPDD]→[動作設定]を選択、起動してください。
2. デスクトップ右下の、システムトレイのアイコン(右絵)をクリックし、[設定]を選択、起動してください。

上記 1. 又は 2.を実行後、表示された'タッチパネルプロパティ' の[キャリブレーションボタン]をクリックし、現われた淡いグレー画面の矢印の先端をタッチします。タッチ入力すると他の場所に次の矢印が現われますので同じように入力していきます。



全てのキャリブレーションポイントの入力を終えると'キャリブレーション後の確認' が現われ、行ったキャリブレーションデータ保存を促すメッセージが表示されます。矢印の入力が問題なく行えた場合は「OK」ボタンをクリック、又は<Enter>キーを入力します。キャリブレーションポイント以外を間違えて押してしまった場合はそのまま何もせずタイムアウトまで待ってください。タイムアウトされると、行ったキャリブレーションデータは破棄され、Windows には保存されません。

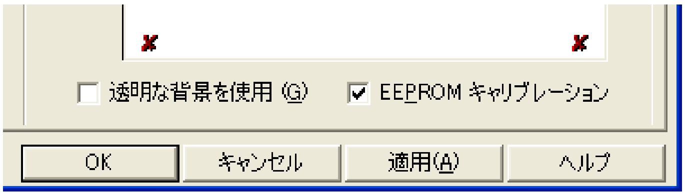
(注意) タイムアウト直前に ESC キーを押さないで下さい。キャリブレーションプログラムが停止する可能性があります。
(注意) マルチタッチパネル環境で使用する場合、タイムアウト時間を 15 以下に設定しないでください。
(注意) キャリブレーション起動中にキーボード等からキャリブレーションプログラムの 2 重起動を行わないでください。

＜EEPROM キャリブレーションを使用する場合＞

本機能を有効にすると、キャリブレーションを行う動作は上記の＜EEPROM キャリブレーション機能を使用しない場合＞と同様ですが、キャリブレーションデータの保存場所が EEPROM になります。又、この機能を有効にした場合、キャリブレーションの位置(矢印の位置)を変更することは出来ません。

(注意) コントローラに EEPROM が実装されている必要があります。

[キャリブレーション]タブ内にある[EEPROM キャリブレーション]にチェックを入れ、[適用]をクリックしてください。



タッチパネルは、経年変化により導入時と比較し、座標がずれることがあります。その場合は、再度キャリブレーションを行うことを推奨します。

マウス操作

A クリック、ドラッグ操作

マウスのクリック、ダブルクリック及びドラッグなどの基本操作は、タッチパネルでは次のように行います。

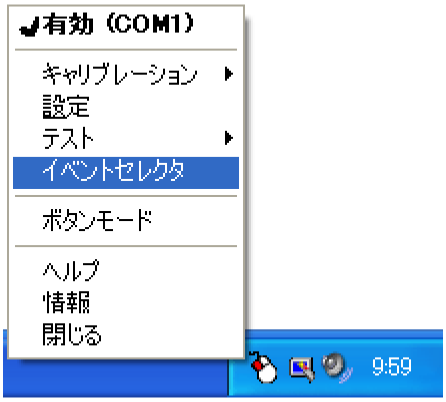
クリック: タッチパネルをタッチし、離します。
ダブルクリック: タッチパネルを素早く 2 回タッチします。
ドラッグ: アイコン、ウィンドウのタイトルバーをタッチし、タッチしたまま指(或いはペン)を移動させます。

B マウスの右クリック

タッチパネルでは、マウスの様に 2 つのボタンはありませんのでタッチパネルで右ボタン操作を行いたい場合は、次のように操作します。

「スタート」→[プログラム]→[UPDD]→[イベントセレクタ]を選択、起動してください。もしくは、システムトレイのアイコンをクリックし、[イベントセレクタ]を選択します。マウスの絵が描かれた小さいウィンドウが表示されます。マウスの絵をタッチするたびに紺色のマウスボタンが切り替りますが、このボタンがアクティブボタンとなり、このアクティブボタンが直後にタッチパネルにタッチしたときの、マウスボタンの動作となります。

初期設定では、右ボタンを選択し、右クリック操作を 1 回行った後は自動的に左ボタンに戻ります。



左ボタン

右ボタン

機能設定

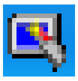
本ソフトウェアは、標準の設定では通常のマウス操作環境と同様な環境を提供しますが、柔軟なカスタマイズ機能を利用することにより、特定用途にあわせた操作環境を容易に作り出すことが出来ます。ここでは、各設定をおこなう[動作設定]の説明をします。

A 動作設定画面起動

下記の何れかの方法により起動を行います。

1. 「スタート」→[プログラム(P)]→[UPDD]→[動作設定]を選択、起動します。

2. システムトレイのアイコン(右絵)をクリックし、[設定]を選択、起動します。



‘タッチパネルドライバ プロパティ’ ウィンドウが現われ、画面はいくつかのタブによって分けられています。このタブは設定目的別に分けられており、コントローラの追加は[デバイス]タブ、コントローラの状態確認は[状態]タブ、キャリブレーションに関する内容は[キャリブレーション]タブというように、行いたい内容ごとに一つの画面にまとめられています。

設定を変更した場合、必ず「適用(A)」ボタンを押して変更した内容を適用させてください。(「適用(A)」ボタンを押すと、コントローラの再初期化を行いますのでタッチパネルが数秒間反応しなくなります)。

注意） 各設定ボタンに（A）などのショートカットキーが割り当てられている場合がありますが、英語表記時の制限により全てを機能させることができない可能性がございます。ご了承願います。

B デバイス

コントローラの追加、名称変更、タッチパネル操作エリア設定、コントローラの削除を行います。

追加:

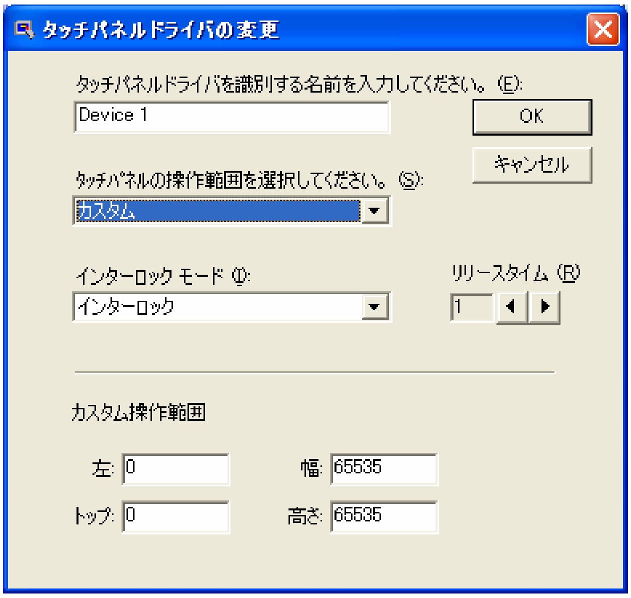
コントローラの追加を行います。追加を行う際、[DMC TSC-10 Series, Serial]、[DMC TSC-10 Series, USB]の選択、操作対象を画面全体にするか、或いは右半分、上半分といったような範囲設定、及びデバイスの名前を設定します。

USB コントローラを追加した場合、「適用」後 USB コントローラをホストコンピュータに接続してください。シリアルコントローラを追加した場合、シリアルコントローラを接続後「ハードウェア」タブにて COM を設定し、「適用」を押してください。

注意） 実際に使用するコントローラのみを追加してください。不使用のコントローラを複数登録していると正常な動作を妨げる場合があります。

変更:

コントローラの名称、操作対象の変更を行うことができます。



タッチパネルドライバを識別する名前:

各デバイスの名前を任意に変更することができます。

タッチパネルの操作範囲:

各デバイスに対し、タッチパネルの操作エリアを指定することができます。
マルチタッチパネルで使用する場合は、[モニタ 1][モニタ 2]や[左半分のエリア][右半分のエリア]等を選択します。
[カスタム]を選択した場合、下にある[カスタム操作範囲]で操作エリアを任意に指定することができます。

インターロックモード:

マルチタッチパネル時のユーザーレベルを設定します。

アドミン: いつでも操作が行えるユーザーです。他のタッチパネルが操作中でも割り込むことが出来ます。

インターロック: 他に使用しているユーザーがいない場合、いつでも操作が行えるユーザーです。他に使っているユーザーがいる場合、他のユーザーが、リリースタイム設定による使用権を放棄された後使用することが出来ます。
タッチパネル操作中、アドミンユーザーが他のタッチパネルを入力すると、自動的に使用権は放棄され、以後アドミンユーザーが使用権を放棄するまで、タッチパネル操作権を得ることが出来ません。

無効: このユーザーは、タッチパネル使用権を得ることは出来ず、タッチパネル操作を行うことが出来ません。

リリースタイム
インターロックモードで設定したアドミン又はインターロックユーザーが、操作終了後(タッチパネル入力終了)、タッチパネルの使用権を放棄するまでの時間設定です。(100≒2 秒)

削除:
コントローラの削除を行います。削除するコントローラをクリックし、選択してから「削除」を実行してください。

Id: USB コントローラ使用時にデバイスタブに表示される Id はコントローラ毎に設定されるタッチパネル ID を表します。この ID はタッチパネル ID が 0 ならば Id に 0、1 ならば Id に 1 と表示されます。この設定は本ソフトウェア上で変更することはできません。USB コントローラ上で設定する必要があります。(詳細は TSC シリーズ IC の仕様書をご参照ください。)
シリアルコントローラ使用時には何も表示されません。

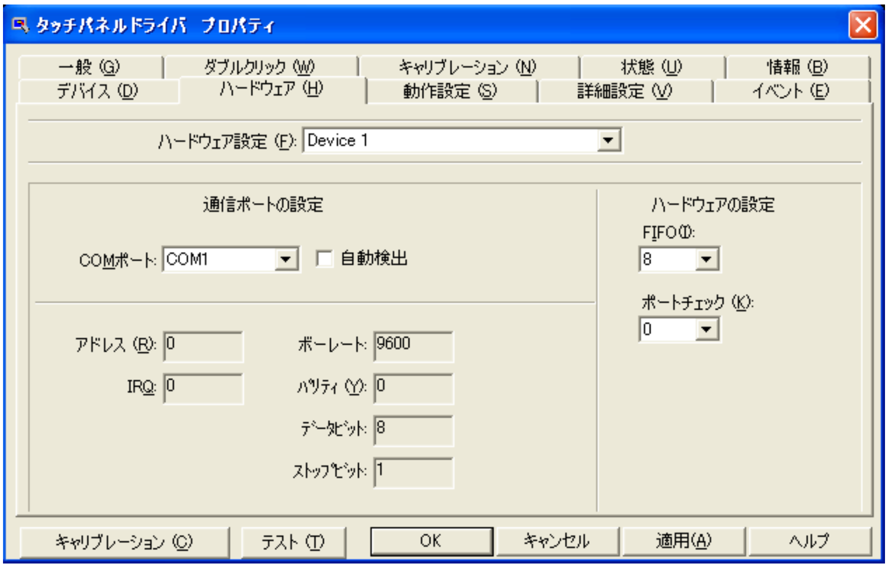
ポート: シリアルコントローラの場合、接続されている COM ポートが表示されます。USB コントローラの場合、Windows から自動で割り振られるアドレスが表示されます。

※コントローラが使用不可能であるとき、そのコントローラの項目は赤字で表示されます。

C ハードウェア

[デバイス]でインストールされているコントローラの、通信設定を行います。[DMC TSC-10 Series, USB]では一切の設定を行う必要はなく、自動的に設定されます。[DMC TSC-10 Series, Serial]では COM 番号を変更する場合は[ポート]の設定を行い、接続ポートを自動検出する場合は[自動検出]をチェックします。他の個所は変更する必要はありません。

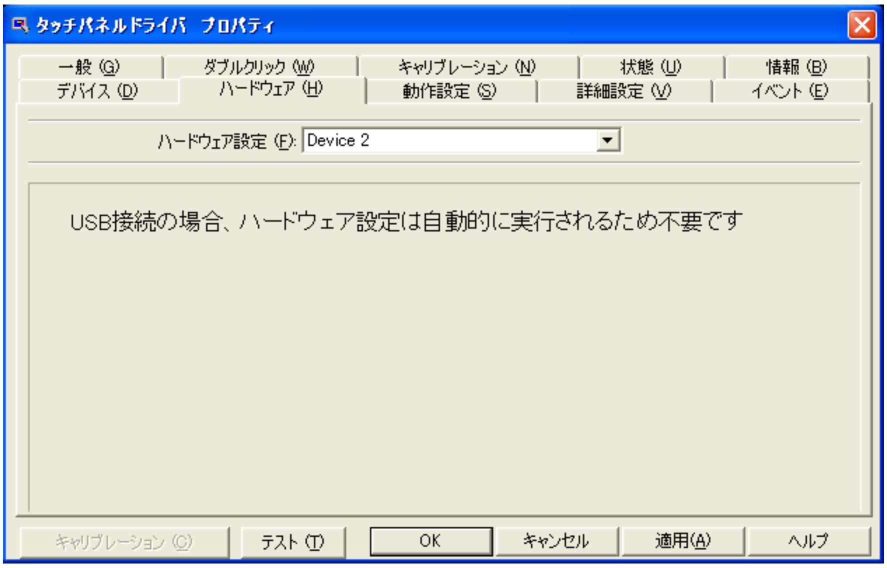
シリアルコントローラ使用時



COM ポート:
接続するシリアルポートの番号を設定します。

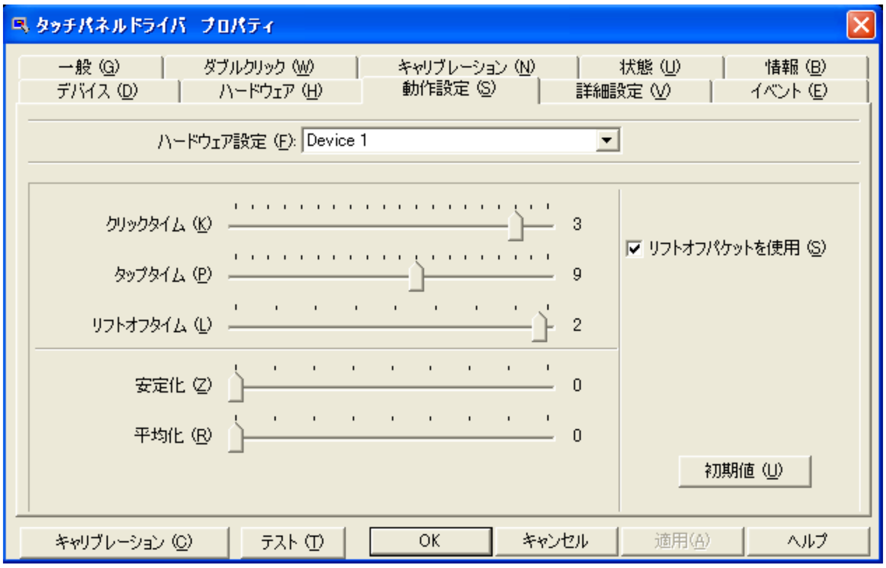
自動検出:
チェックをオンにしていると、Windows 起動時、接続しているシリアルポートを自動的に検出します。
マルチモニター環境で使用する場合、自動検出にチェックを入れないでください。

USB コントローラ使用時



D 動作設定

タッチパネルにタッチしたときの、操作感に関する設定を行います。項目によっては[イベント]、[ボタンモード]と連動して機能します。



クリックタイム:
[イベント]で[タイム～]を指定している場合、タッチしてからクリック動作するまでの時間を設定します。

タップタイム:
[イベント]で[タップ～]を指定している場合、2 回目のタッチをクリックと見なすまでの有効時間を設定します。

リフトオフタイム:
[リフトオフパケットの使用]を OFF にしている場合にタッチパネルをタッチした指(ペン)を離してから、離したと見なすまでの時間を設定します。

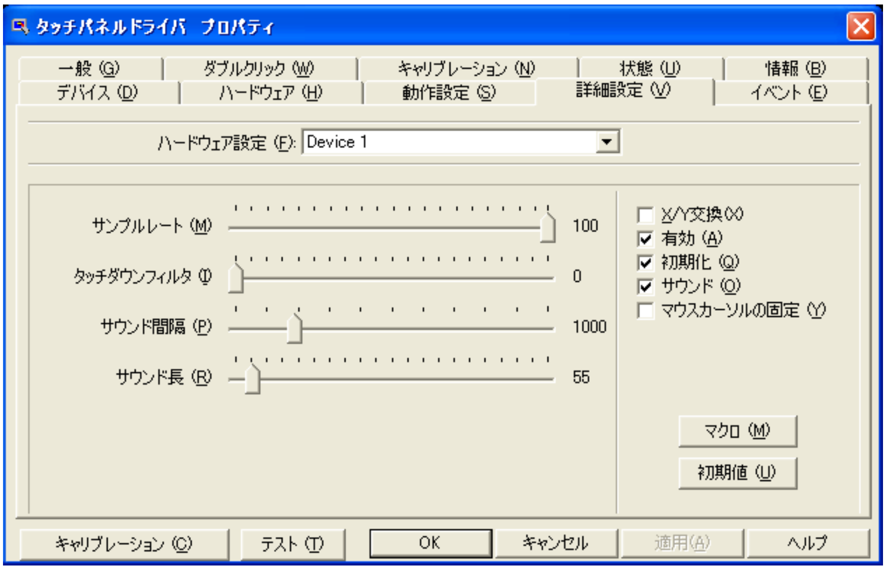
安定化:
カーソルが一定位置に留まろうとする作用の度合いを設定します。タッチ入力位置の移動量が一定量を超えるまでカーソルは移動しません。初期設定は 0 で安定化作用は働きません。設定値を大きくする程、安定化作用が働きます。

平均化:
カーソルが一定位置に留まろうとする作用の度合いを設定します。[安定化]と異なる点は、[安定化]はタッチ位置の移動量が一定量を超えるまでは、カーソルは同じ位置から移動しませんが、本項目は設定値により、タッチ位置に緩やかに移動します。初期設定は 0 で平均化作用は働きません。設定値を大きくする程、平均化作用が働きます。

リフトオフパケットを使用:
チェックをオンにすると、タッチした指(ペン)を離したとき、すぐに離したと見なします。文字入力するときはチェックを外して下さい。

E 詳細設定

本ソフトウェアが提供する機能のより詳細な設定を行うことが出来ます。しかし、設定を間違えるとタッチパネルが動作しなくなりますので、タッチパネルコントローラ TSC シリーズ IC の機能に精通しているユーザー以外は設定を行わないで下さい。



サンプルレート：
本ドライバがコントローラから受け取った座標データをどのくらいの割合で OS に渡すかを設定いたします。単位=%
通常、本設定を変更する必要はありません。

タッチダウンフィルタ：
タッチ入力してからどのくらいまでの時間を無視するかを設定します。単位=20ms
あまり大きな値を設定すると正常なタッチ操作を行えなくなることがありますのでご注意ください。
通常、本設定を変更する必要はありません。

サウンド間隔：
クリック音の周波数を設定します。設定値が大きいほど、音が高くなります。

サウンド長：
クリック音の長さを設定します。設定値が大きいほど、クリック音が長くなります。

X/Y 交換：
X 軸と Y 軸を入れ替えます。

有効：
チェックを外すとタッチパネルが無効となります。システムトレイの[有効]と連動しています。

初期化：
チェックを外すと初期化コマンドを送りません。
本機能をオフにする（チェックを外す）と正常に動作しない可能性がありますので、通常、本設定を変更する必要はありません。

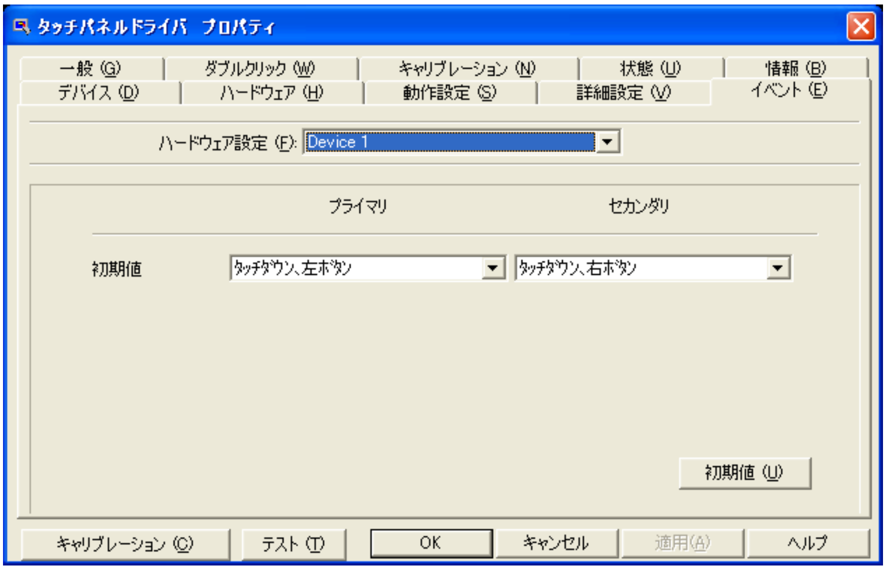
サウンド：
タッチ音の ON/OFF を行います。

マウスカーソルの固定：
有効にするとタッチ入力が終わった後、カーソルが最初の位置に戻ります。マルチタッチパネルモニター環境で使用するとタッチ入力後、別モニターにカーソルを戻すことができます。

マクロ：
初期化時にコントローラに送信するコマンドが記載されております。
ここに記載されている内容を変更すると正常に動作しない可能性がございます。通常、変更する必要はございません。

F イベント

タッチパネルをタッチしたときの機能を選択します。標準では[プライマリ]の設定がタッチ操作に適用されます。[セカンダリ]の設定を使用するには、[イベントセレクタ]でマウスの絵又はテキストをクリックし、右ボタンをアクティブ、又は[セカンダリ]に設定してください。



なし:
カーソルの移動は行いますが、クリックを行いません。

タッチダウン～:
1回目のタッチでマウスボタンクリックを行います。

タッチダウン　イミディエート～:
タッチした後すぐにペンアップを行います。従って、ドラッグ操作を行いたくない場合に設定してください。

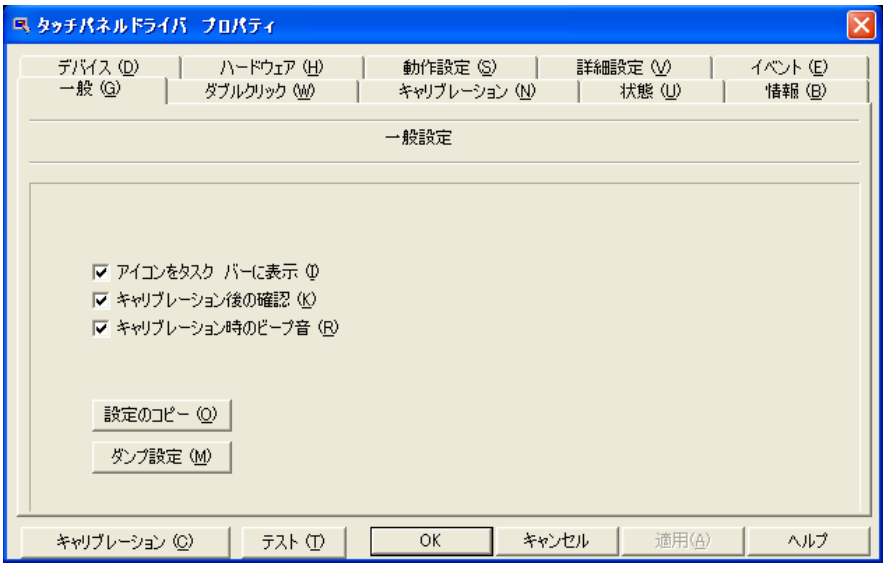
タイム～:
タッチ時、タッチ位置が安定(カーソルが停止)するまではクリックを行いません。カーソルが停止してからクリック動作するまでの時間は[動作設定]→[クリックタイム]で行ってください。

タップ～:
1 回目のタッチではマウスカーソルの移動を行いますが、クリックはせず、2 回目のタッチでクリックを行います。1 回目のタッチと 2 回目のタッチの許容時間設定は[動作設定]→[タップタイム]で行ってください。

リフトオフ～:
タッチしたとき、カーソルの移動は行いますがクリックはしません。タッチした指(ペン)を離したときにクリック、又はダブルクリック動作を行う場合に使用します。

～ダブルクリック～:
1 回のタッチでダブルクリックを行います。

G 一般
本ソフトウェアの基本的な動作設定を行います。



アイコンをタスクバーに表示：
タスクバーへアイコン表示を行うか否かを設定します。

キャリブレーション後の確認：
キャリブレーション終了後、キャリブレーションデータを保存するかどうか確認するダイアログボックスを表示するか否かを設定します。チェックを外すとキャリブレーション終了後、自動的にキャリブレーションデータを保存します。

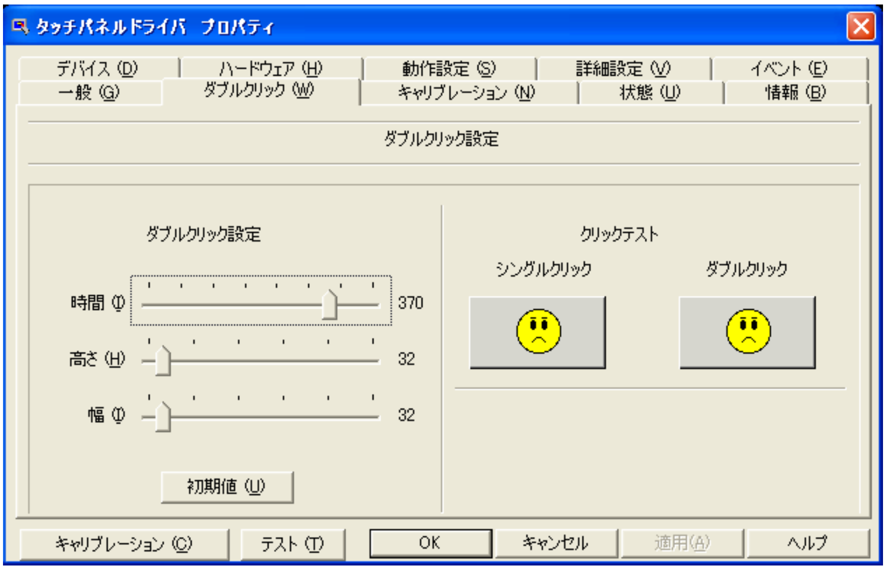
キャリブレーション時のビープ音：
キャリブレーションポイントをタッチしたとき、入力されたことを確認するための音を鳴らすか否かを設定します。

設定のコピー：
現在使用している環境を、何らかの理由により再度インストールしたときに同じ環境を再現したい場合に使用します。本ボタンをクリック後、C:¥Program Files¥UPDD¥upddclon.reg が作成されます。インストーラ「setup.exe」と同じ階層に「updd_ext」フォルダを作成してください。そして、この「updd_ext」フォルダ内に「updclon.reg」を入れてください(updd_ext¥updclon.reg)。この状態で「setup.exe」を起動すると、「updclon.reg」が適用され、「updclon.reg」ファイルを作成した時と同じ設定になるように自動的にインストールが開始されます。

ダンプ設定：
各設定をダンプするために使用します。ダンプされるディレクトリは OS により異なります。

H ダブルクリック

ダブルクリックに関する設定を行います。



時間：
1 回目のタッチから 2 回目のタッチまでの許容時間を設定します。設定値が大きいほど許容時間は長くなります。

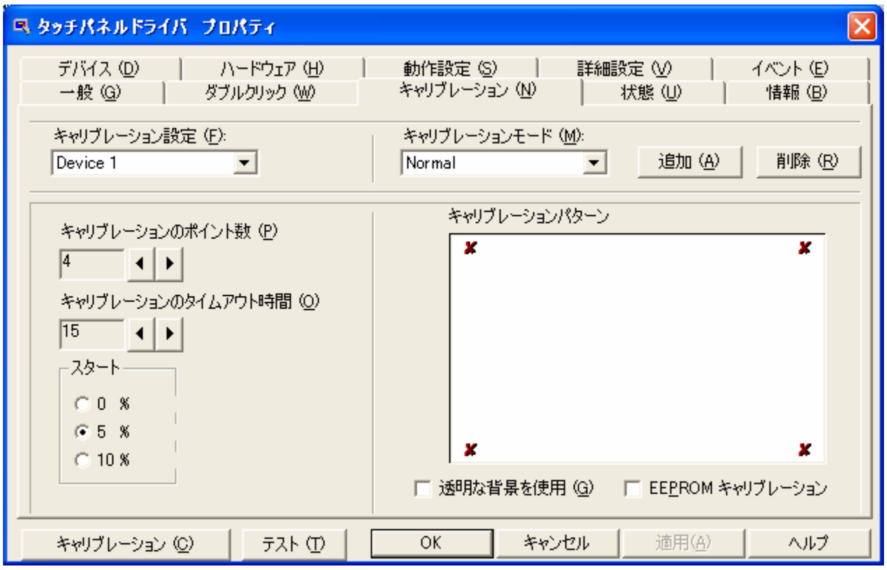
高さ：
2 回目にタッチしたとき、1 回目のタッチと同一位置と見なす上下方向許容値のドット数を設定します。あまり小さく設定するとダブルクリックが出来なくなりますので注意してください。

幅：
2 回目にタッチしたとき、1 回目のタッチと同一位置と見なす左右方向許容値のドット数を設定します。あまり小さく設定するとダブルクリックが出来なくなりますので注意してください。

クリックテスト：
設定後の動作確認に使用します。シングルクリックテストには[シングルクリック]アイコンを、ダブルクリックテストには[ダブルクリック]アイコンをクリックしてください。

I キャリブレーション

キャリブレーションに関する設定を行います。キャリブレーションは複数の設定を持つことが出来、設定ごとに補正ポイント数、タイムアウト値など各設定項目を変えることが出来ます。



キャリブレーション設定:
デバイスにリストされているコントローラが複数ある場合は、ここで、キャリブレーションを行うコントローラを選択してください。

キャリブレーションモード:
[キャリブレーションモード]にモードを追加することにより、キャリブレーションデータを複数もつことが出来ます。「追加」ボタンでモードの追加、「削除」ボタンでモードの削除を行います。
モードを追加した場合、「スタート」にてキャリブレーション位置を設定してください。

キャリブレーションポイント:
キャリブレーションポイント数を設定します。標準では 4 ポイントですが、必要に応じて 2～25 ポイント間で設定することが出来ます。

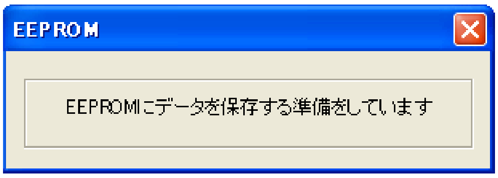
キャリブレーションタイムアウト時間:
キャリブレーション時、キャリブレーション画面が表示されてからしばらくタッチしないでいるとタイムアウトになりますが、このタイムアウト値の設定を行います。標準では 15(15 秒)に設定されています。必要に応じて最長、60(60 秒)まで設定することができます。

スタート:
キャリブレーションポイント位置を設定します。画面の 4 隅が 0%で、数値が大きい程キャリブレーションポイントは画面中心に近い位置になります。標準で 5%になっています。

注意） キャリブレーションポイント数や位置などを変更した場合は、正常にキャリブレーションを終了することにより最終的に設定が反映されます。タイムアウトした場合などは設定変更前の状態に戻ります。

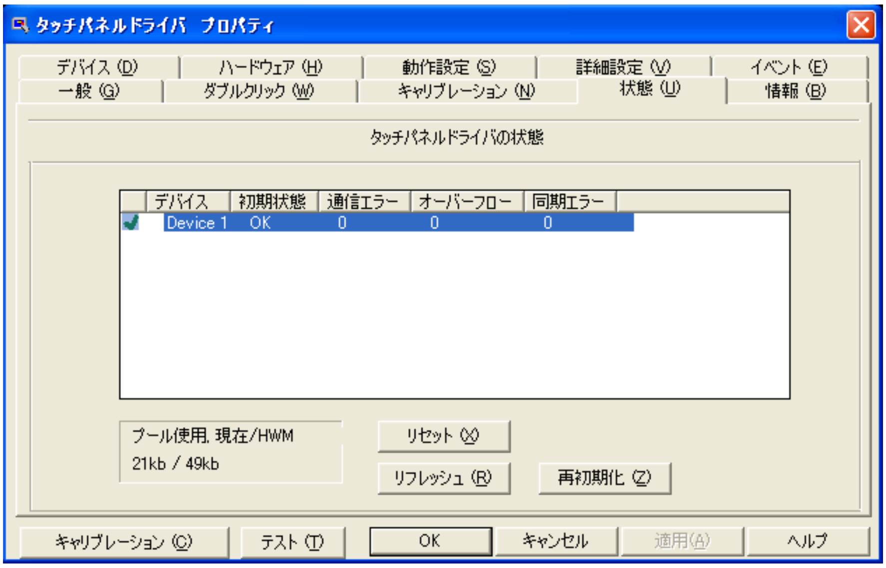
透明な背景を使用:
チェックをオンにすると、キャリブレーション画面の背景にデスクトップを表示させることが出来ます。
注意） 本機能を有効にした場合、キャリブレーション後の確認ウィンドウが画面中央に表示されないことがあります。

EEPROM キャリブレーション:
チェックをオンにすると、キャリブレーションデータの保存場所が EEPROM になります。ただし、タッチパネルコントローラに EEPROM が実装されている必要があります。
又、この機能をオンにするとキャリブレーションポイント位置（スタート）を変更できなくなります。
EEPROM キャリブレーション実行後は以下のウィンドウが表示されます。



J 状態

コントローラの状態表示の確認を行うことが出来、又コントローラの再初期化を行うことが出来ます。



再初期化：
コントローラの再初期化を行います。ほとんどの場合、このボタン操作を必要としませんが、コントローラに[DMC TSC-10 Series, Serial]を選択し、Windows 起動後にコントローラの接続を行った場合、「再初期化」ボタンを押し、再初期化を行ってください。

リセット：
[通信エラー]、[オーバーフロー]、[同期エラー]の値をクリアします。

リフレッシュ：
[初期状態]を最新の表示にリセットします。

初期状態の表示について：

OK	コントローラとの通信が正常に行われております。
タイムアウト	何らかの理由により、ホストコンピュータとコントローラの通信が正常に行われておりません。
Failed	コントローラにタッチパネルが接続されておりません。又は、コントローラにEEPROMを実装している場合、EEPROM 内のデータが空であることが考えられます。
Unavailable	タッチパネルが無効の状態です。
不要	[詳細設定]タブで、初期化のチェックを外している状態です。
進行中	再初期化コマンドを送信中です。

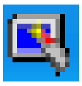
※USB コントローラを使用している場合、ここには何も表示されません。

K イベントセレクタ

イベントセレクタを使用することにより、マウスボタンの左クリック、右クリックを切り分けて使用することが出来ます。

1. イベントセレクタ起動

「スタート」→[プログラム(P)]→[UPDD]→[イベントセレクタ]を選択し、起動します。

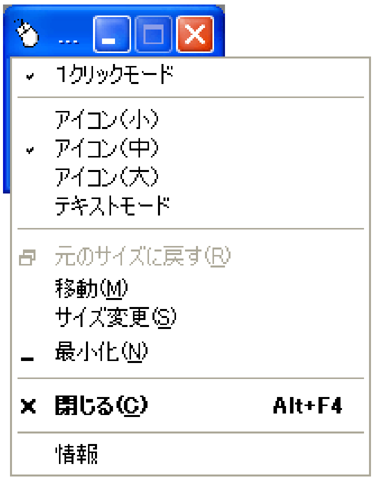


又は、システムトレイのアイコン(右絵)をクリックし、[イベントセレクタ]を選択し、起動します。

注意)イベントセレクタを起動中に再度起動すると、起動されていたイベントセレクタは終了します。

2. 各設定

イベントセレクタの設定は、ウィンドウ左上の小さいマウスの絵をクリックし、表示されたメニューを選択することで行います。



1 クリックモード:
右クリック設定を、1回のタッチのみ有効にします。

アイコン(小):
ウィンドウ中の、マウスの絵の大きさを小さく表示します。

アイコン(中):
ウィンドウ中の、マウスの絵を標準の大きさで表示します。

アイコン(大):
ウィンドウ中の、マウスの絵の大きさを、大きく表示します。

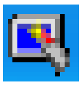
テキストモード:
ウィンドウ中の表示をテキスト表示します。

L ヘルプ

本ソフトウェアに関するヘルプが表示されます。

ヘルプの起動

‘タッチパネルドライバ プロパティ’ウィンドウ内のヘルプボタンを押し、起動します。



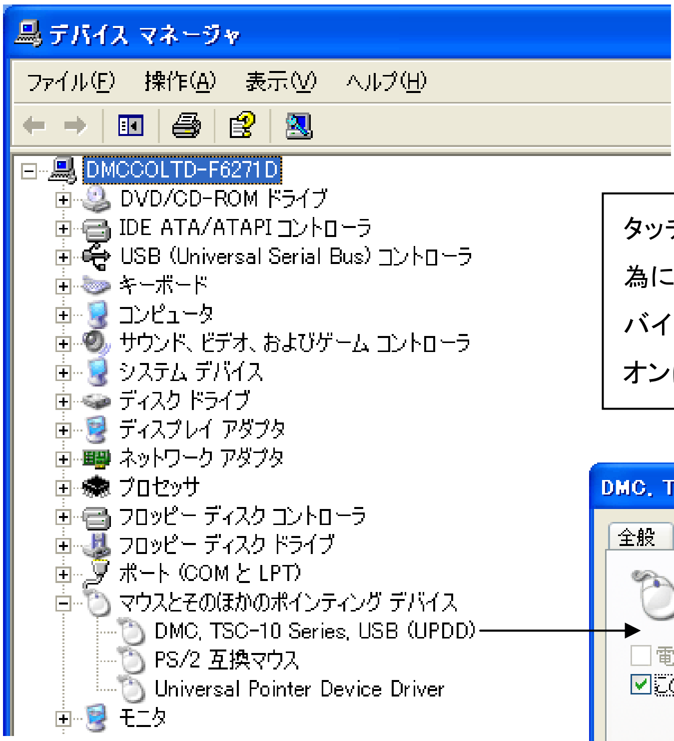
又は、システムトレイのアイコン(右絵)をクリックし、[ヘルプ]を選択し、起動します。

※ヘルプを表示させる為には、InternetExplorer5 以上がインストールされている必要があります。

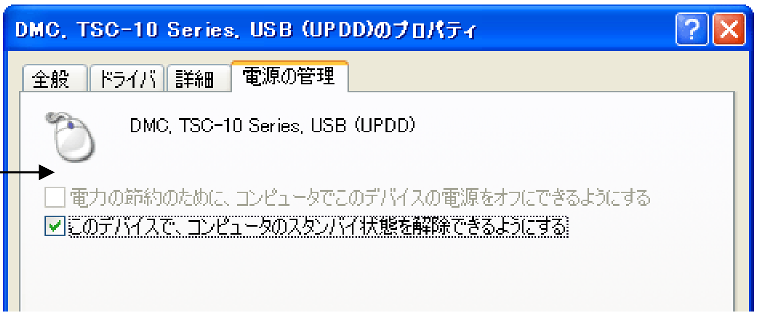
その他

スタンバイモードからの復帰

TSC-10/DD をインストールすると、デバイスマネージャの「マウスとそのほかのポインティング デバイス」の項目に「Universal Pointer Device Driver」がエントリーされます。USB コントローラで使用する場合、USB コントローラ接続後「DMC, TSC-10 Series, USB (UPDD)」がエントリーされます。USB コントローラ使用時、タッチパネルを使ってスタンバイモードから復帰させる為には、デバイスマネージャ内において設定をする必要があります。



タッチパネルを使ってスタンバイモードから復帰させる為には、下記の「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックボックスをオンにしてください。



変更履歴

第 1 版　 2007.3.30 初版発行

第 2 版　 2008.9.29 TSC-10/IC を TSC シリーズ IC へ変更
注意事項の追加（P2,P6,P8,P9,P17,P19）
機能説明の追加（P13,P14,P17）
特徴と機能の追加（P2）

TSC-10/DD v3.08.74P 取扱説明書

第 2 版 2008 年 9 月 29 日 発行

©2008 DMC Co., Ltd.

本書の再配布を認めますが、本書の改変を禁止します。

株式会社ディ・エム・シー
http://www.dmccoltd.com/
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-2-4 神田セントビル 9F
Phone: 03-5209-7131　 Fax: 03-5209-7130